

2024年9月24日

取締役会の実効性評価結果の概要について

株式会社シルバーライフ

当社は、持続的な企業価値の向上を目指し、取締役会の実効性向上に向けた課題を明らかにし、改善に繋げる目的として、取締役会の実効性評価を行っております。

この度、2024年7月期の取締役会について評価いたしましたので、その概要を開示いたします。

1. 評価方法

取締役会の実効性に関するアンケート用紙を、全取締役8名に配布し、8名からの回答を得ました。アンケート結果については「指名・報酬委員会」においてその内容が共有され、2024年7月期における当社取締役会の実効性についての評価、及び今後の更なる取締役会の実効性向上に向けた課題について検討が行われました。

対象者：取締役8名

回答者：取締役8名

回答方式：無記名アンケート方式

評価項目：

- I 取締役会の構成
- II 取締役会の運営
- III 取締役会の役割・責務
- IV 取締役・取締役会を支える体制
- V 今後の取締役会運営について

2. 評価結果の概要

2024年7月期における当社取締役会は、その構成（人員、社内・社外取締役の比率など）、取締役会付議事項の内容及び審議時間について、おおむね適切であることが確認されました。一方で、付議事項に対して各取締役の十分な事前検討時間が確保されるよう、取締役会資料の取締役への共有をより早く行うよう求める意見がありました。

取締役会の運営については、各取締役が議論への積極的な参加・発言のうえ運営されているとの意見が多く挙がりました。他の出席者への発言を促すなどの配慮がなされるなど、議長を中心として積極的な意見交換を行う雰囲気醸成が評価されておりました。

結果、2024年7月期の当社取締役会は十分にその機能を発揮しており、実効性は確保されていると判断をいたしました。

3. 前回評価を受けての取り組みに対する評価

前回実効性評価において、取締役相互のコミュニケーションをより一層深めていくことを目的に、取締役会とは別に「意見交換会（経営課題ディスカッション）」の場を設け、当社の中長期的経営課題についての議論を行うことを、2024年7月期の取り組みとして設定しました。

その実施状況について、各取締役の意見形成・認識共有という点で一定の効果は得られており、継続的に取り組むことでより取締役の相互理解が深まり、経営課題への具体性のある意見交換の場となることに期待する意見が多く挙がりました。一方で、その方法やテーマ設定などについては改善を必要とする声も挙がり、より実効性の高い議論の場とすることが必要であるとの意見がありました。

そこで、2025年7月期についても、運営方法の改善を図りながら、引き続き「意見交換会（経営課題ディスカッション）」に取り組んでいくこととしました。

4. 実効性評価をふまえた今後の対応について

上記の分析・評価結果及びを踏まえて、取締役会のさらなる実効性の向上のための取り組みを積極的に進め、取締役会が重要な経営課題に対してその機能を十分に発揮することで、当社のさらなる企業価値向上に努めてまいります。

以上